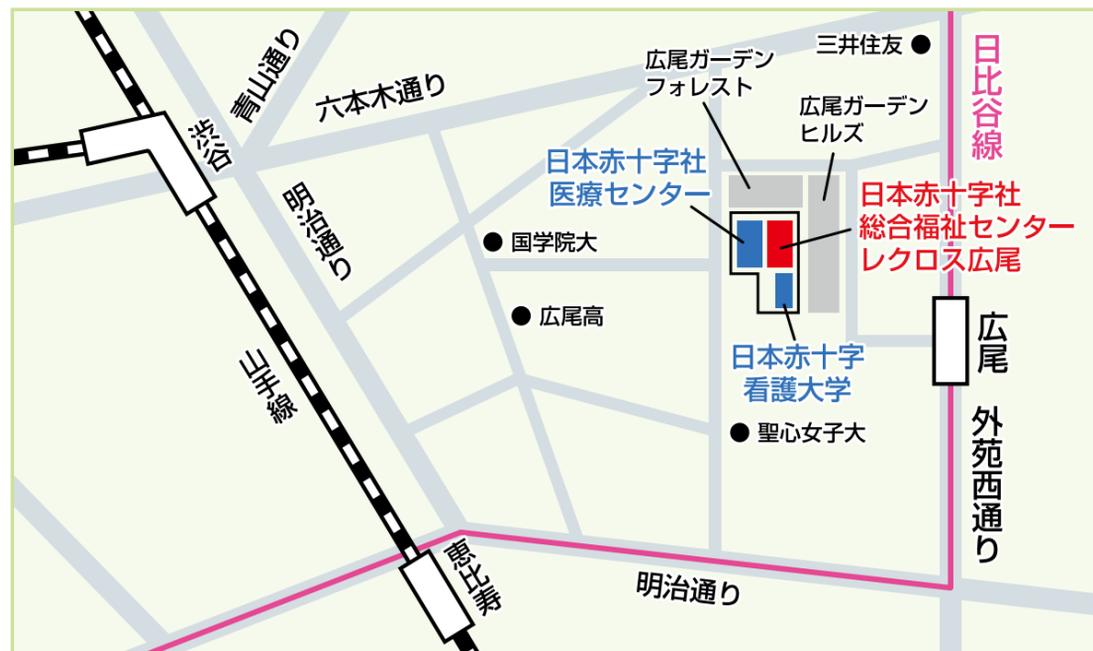


案内図



都営バス	渋谷駅東口から「学03」系統：日赤医療センター行き終点(約8分) 恵比寿駅西口から「学06」系統：日赤医療センター行き終点(約7分)
東京メトロ日比谷線	広尾駅3番出口から徒歩(約15分)

お問い合わせ

日本赤十字社総合福祉センター レクロス広尾

東京都渋谷区広尾四丁目1番23号

電話：03-6861-4800 FAX:03-6861-4810

MAIL: hiroo@hiroo.jrc.or.jp

※メールの場合は、件名に必ず「施設問合せ」と入力して送信下さい。

URL: <http://hiroo.jrc.or.jp>



施設利用のご案内



日本赤十字社総合福祉センター
障害者支援施設
レクロス広尾

日本赤十字社総合福祉センター レクロス広尾

日本赤十字社の使命

私たちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社総合福祉センターの基本理念

赤十字の基本原則である「人道」の精神にのっとり、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社総合福祉センターの運営基本方針

- [1] 一人ひとりを大切に、利用者の視点に立った安心・安全なサービスを提供します。
- [2] 家族・地域社会との連携を図り、地域福祉の向上に努めます。
- [3] 保健、医療、看護、福祉の各種サービスの一体的な提供に努めます。

「レクロス広尾」は、「赤十字」の英訳である Red Cross (レッドクロス) を略して、Re(レ)と Cross(クロス) で「レクロス」となりました。
(レ)は再建、(クロス)は「お役に立ちたい」という意味を含みます。



サービスのご案内

地元住民等との連携を推進し、地域福祉に貢献

- 地域交流ホール等で介護教室等や地域交流事業を開催するなど、地元住民を交えた施設内行事、近隣各種学校とのサークル活動の場として活用します。また、地域における行事や催し事に積極的に参加し、地域に根ざした施設を目指します。
- 施設内外行事企画・実施と地域催事への参加を通じ、福祉施設の理解につなげられるよう努めます。



1F

オムツに頼らないトイレでの排泄を実践

オムツに頼らざるを得ない、ということがないように身体状況に合わせた多様なトイレを完備しています。車椅子用トイレのほか、リフト式トイレ、横になったまま利用いただける座式トイレも用意しています。



座式トイレ

障害者支援施設

障害者支援施設運営方針

- [1] ご利用者の幸せを考え、健康に笑顔で生活できるよう、一人ひとりにふさわしい日中活動の支援及び生活援助を行います。
- [2] 日本赤十字社総合福祉センター並びに敷地内の社会資源を最大限活用し、地域社会に出るための礎を作ります。
- [3] ご利用者、ご家族、地域に愛される施設を目指します。

生活介護・施設入所支援

- 定員：10名
- 以下①～③のいずれにも該当する方が対象となります。
①原則渋谷区に住民登録、外国人登録をしている方 ②18歳から64歳の方で、障害程度区分4以上(50歳以上は3以上)と判定された方。 ③身体障害者手帳の交付を受けており、おおむね1、2級の方で常時介護を必要とする方。
- 日常生活(食事・入浴・排泄・趣味活動など)が快適に送れるよう、身体状況に応じた支援を行います。
- 小規模施設のメリットを活かしたきめ細かい健康管理を行い、利用者の健康状態の維持・増進に努めます。
- 全室個室です。
- 利用者のご希望に応じて、回りの社会資源を最大限活用して、地域社会での自立生活に向けた支援を行います。

ショートステイ

- 定員：1名
- 都内にお住まいの身体障害をお持ちの方で、障害福祉サービス受給者証に、短期入所の支給決定を受けている方が対象です。
- 介護者が病気、冠婚葬祭や出張、または休養をとられる場合など、短期間の入所による生活支援を行います。
- 個室を完備し、家庭的な雰囲気の中でお過ごしいただけます。

身体状況に合わせた心地良い「入浴」を実践

横になったまま入浴できる卧式浴槽、座位のまま入浴できるリフト式浴槽を完備し、利用者の身体状況に合わせた入浴環境を用意しています。



リフト式個別浴槽

浴槽イメージ

四季を彩る緑に囲まれた環境を確保

- 桜をはじめとした季節感あふれる1階バルコニー、ミニ菜園や花壇で構成された7階屋上庭園で、日常生活において自然に触れあう機会を大切に、心身の安定につなげられるようにします。
- 日赤医療センター中庭よりつながる並木小路や、南側にそびえる日赤看護大学の松など、散歩に適した周辺環境を整備しています。

生活への潤い、生きがいや楽しみにつながるアクティビティの提供

- 趣味の活動やボランティアによる活動で、施設生活に潤いと楽しみを提供します。
- 自分の衣類を自分で洗濯できる洗濯室も用意しています。
- 「心を癒す多重感覚環境の世界「心のオアシス」」リラクゼーション室として、スヌーズレンを導入しています。様々な感覚を受け、それを感じる事で楽しんだり、リラックスしていただけるお部屋です。



リラクゼーション室

その人の「暮らし」を支える居住空間

車椅子での使用を想定した洗面台、ロッカーチェスト、介護用ベッドを配置。床や壁紙も全室異なるよう工夫をしました。馴染みの家具や嗜好品を持ち込めます。(但し、持ち込みに関しては事前にご相談ください。)

居室の特徴

- ・介護用ベッド・ロッカーチェスト
- ・洗面台・インターネットLAN
- ・各室異なるデザイン



居室



インターネットLAN回線のコネクター
全室インターネットが利用できます

安心・安全の「生活空間」の提供

- 利用者の使い勝手を考えた食卓・椅子を選定しています。昼食は2種類から選べる食事を行います。季節感あふれる食事をユニットで盛り付け、配膳を行うことで家庭的なお食事を提供します。
- 食堂、談話室は車椅子移動がし易いよう広く取りました。
- リラックスできる和室も備えています。(6畳程)



食堂・談話室



テーブルイメージ



2F



7F